

事業番号	09 03 04	事業改善シート（令和6年度実施事業分）	☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	農業改良普及事業	部局	農政部	課・室	農業技術課	
		実施期間	S23 ～	E-mail	nogi @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

・人口減少・高齢化等により基幹的農業従事者が大幅に減少（73千人（2015年）→56千人（2020年））し、農業・農村を支える担い手が不足している状況であることから、意欲ある若い世代の新規就農者の確保や本県の農業生産を支える担い手の育成が急務となっている。

・本県農業をけん引する中核的経営体が増加（8,998経営体（2015年）→9,948経営体（2020年））し、規模拡大に伴う経営の複合化・多角化など企業的な農業経営が必要となる中、普及組織に対し、経営管理能力の向上に向けた支援や効率的な栽培管理技術の普及等が求められている。

2 事業目的

・農業経営者が、新たな農業技術や環境と調和のとれた農業生産、多様化する流通・消費形態、高度情報化等に対応し、地域で活躍できるようにする。

・農業・農村を担う組織づくりを進め、地域農業の活性化を図る。

3 事業目的を達成するための取組

①生産性向上技術や持続可能な農業技術の迅速な普及

県オリジナル品種の作付拡大による農業経営体の収益性向上を図るため、農業者や産地が抱える問題を的確に把握・分析し、試験場で得られた技術・品種開発の成果を実証展示や研修会等により迅速に普及

②農業者の経営改善に向けた支援

・地域農業を支える担い手の生産性向上を図るため、スマート農業技術やトヨタ式カイゼン手法などの導入によって経営改善を支援

・農業の担い手不足及び高齢化が進む中、農業の持続的な発展を図るため、防除作業等の受託を行う農業支援サービス事業体のサービス提供に必要なスマート農業機械等の導入を支援

③地域の担い手の確保・育成

・新規就農者や多様な担い手の確保・育成を図るため、関係機関と連携して就農を支援

・地域における農地利用の最適化を推進するため、地域計画の策定を支援

・地域の農業農村のリーダーを育成するため、知事が認定する「農業士」「農業経営士」及び「農村生活マイスター」の認定を支援



<スマート農業技術に係る現地実演会>

4 成果指標

（推移の凡例 ♯：改善 ♭：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R4年度		R5年度		R6年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	推移	実績	推移	実績	推移			
①	ぶどう「クイーンルージュ®」栽培面積	ha	159	♯	181	♯	200	♯	185	達成	県オリジナル品種の作付拡大状況を把握する指標として、県で振興するぶどう「クイーンルージュ®」の栽培面積を設定。令和9年度目標の224haに向けて、令和6年度は185haを目標とする
②	カイゼン手法導入経営体数	経営体	43	♯	54	♯	62	♯	63	未達成	県普及事業における共通課題達成目標に基づき設定。前年度の目標値53に、支援センターの規模に応じて1-2経営体を新規に追加した63を目標とする
③	農村生活マイスターの認定者数	人	13	♯	18	♯	25	♯	15	達成	農村の女性リーダーの育成を進めるため、第4期長野県食と農業農村振興計画の達成指標に基づいて設定。毎年15人の認定者を目標とする

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値
2-1①	成長産業の創出・振興	農業における中核的経営体数	経営体	2022 (R4)	10,061	2023 (R5)	10,288	2024 (R6)	11,282	2027 (R9)	10,700
2-1①	成長産業の創出・振興	☆農業農村総生産額	億円	2022 (R4)	3,719	2023 (R5)	3,911	2024 (R6)	4,346 (県推計値)	2027 (R9)	3,700
2-3③	地域の建設業等における担い手の確保の推進	新規就農者数(49歳以下)	人/年	2022 (R4)	189	2023 (R5)	172	2024 (R6)	191	2027 (R9)	215

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R6年度	0	70,327	2,329	72,656	31,149	61,797	179.0
R5年度	0	83,233	△ 10,976	72,257	43,465	59,764	179.0
R4年度	0	90,522	△ 27,632	62,890	34,345	56,185	179.0

事業番号	09 03 04	事業改善シート（令和 6 年度実施事業分）	☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	■点検
事業名	農業改良普及事業	部局	農政部	課・室	農業技術課	

7 主な取組実績と成果

①生産性向上技術や持続可能な農業技術の迅速な普及

・ぶどうの新品種「クイーンルージュ®」の振興については、新梢管理や房づくり等の栽培技術研修会（2回、124名参加）の開催や各地域での生育状況調査に基づく技術指導により、品質及び単収の高位平準化を図った。

②農業者の経営改善に向けた支援

・農業農村支援センターに設置したスマート農業相談窓口での対応やスマート農業技術に係る実演会・研修会の開催により、大規模水稲経営体におけるスマート農業技術の導入率が45.2%（R5年度:38.0%）に増加した。
・トヨタ式カイゼン手法については、指導体制の強化としてカイゼン手法推進会議及び研修会の開催（3回、8名参加）したほか、農業経営体向けの活用研修会の開催（2会場、56名参加）により、効率的な経営手法を導入した経営体の増加につなげることができた。
・農業支援サービス事業体（5経営体）におけるスマート農業機械等の導入を支援した。

③地域の担い手の確保・育成

・JAや市町村等の関係機関と連携した就農希望者への相談対応などにより、新規就農者の確保を図った。
・地域計画の策定に係る協議の場に普及職員が参加し、助言をするなど策定に向けた支援を行った。
・農村生活マイスターを含む、地域をけん引するリーダーを育成するための研修会を実施した（3団体、計10回）。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	ぶどう「クイーンルージュ®」栽培面積	R5年度推移	↗	R6年度推移	↗	達成状況	達成
生産者向けの長野県ぶどうフォーラム等の開催により、農業者の栽培意欲を高め、栽培面積は前年比110%となる200haまで増加し、目標値を上回った。							
指標②	カイゼン手法導入経営体数	R5年度推移	↗	R6年度推移	↗	達成状況	未達成
導入推進に向けた普及職員による働きかけや、研修会の開催等の取組により、導入経営体が63となり、前年度から8経営体増加することができたが、目標値は下回った。							
指標③	農村生活マイスターの認定者数	R5年度推移	↗	R6年度推移	↗	達成状況	達成
各支部でのセミナー開催などの活動支援や活動の積極的なPRにより、新規認定者数が25人となり、目標値を上回った。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

・生産性向上技術や持続可能な農業技術の迅速な普及には、より一層、関係機関が連携し、試験場等で得られた有効な技術を迅速に現場へ普及を図っていく必要がある。
・生産性の向上に有効であるスマート農業技術やトヨタ式カイゼン手法について、引き続き導入推進に向けた取組が必要である。
・人口減少に伴い、農業の担い手が減少傾向にある中、新規就農者の確保のほか、地域計画に位置付けられた担い手の育成が急務である。

(2) 事業改善の方策

・生産性向上につながる品種や技術を迅速に普及するため、普及指導に係る業務に必要な資質を有する職員を継続的に育成確保していく。
・補助事業等の活用により、スマート農業技術の導入を加速化する。
・引き続き、今後の農業・農村を担う、農業支援サービスや多様な人材の活用を進めるとともに、女性の農業経営への参画を促進していく。

事業番号	09 03 04	細事業一覧（令和6年度実施事業分）			☐ 当初要求 ☐ 当初予算案 ☐ 補正予算案 ☒ 点検	
事業名	農業改良普及事業		部局	農政部	課・室	農業技術課

細事業 No.	細事業名			R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
1	農業改良普及運営費			42,616 千円	46,728 千円	39,137 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	農業改良普及運営費	直接	地域における課題解決を支援するため、県下10所の農業農村支援センターに普及指導員を配置して、普及活動を展開 普及指導対象12,067経営体、調査研究73課題			

細事業 No.	細事業名			R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
2	農業改良普及事業費			12,995 千円	12,555 千円	22,660 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和６年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	農業改良普及事業費	直接	担い手の確保・育成や農業関係試験場が開発した新技術・新品種の普及、スマート農業やカイゼン手法の導入による農業者の経営改善を図るため、市町村やＪＡ等の関係機関と連携しつつ普及活動を展開			
			農業者に対する研修会等1,923回、新規就農促進のための交流会等126回			
2	スマート農業展開支援事業	補助金	農業支援サービス事業体におけるスマート農業機械等の導入を支援			
			農業用ドローン３台、直進アシスト付きトラクター１台等			